

世界遺産地域管理計画に基づく具体的取組について

<趣 旨>

前回改定から約 10 年を経た管理計画について、社会状況の変化等を踏まえた改定作業を行うだけでなく、計画に基づく実際のアクションとして、新規の取組への着手や、既存の取組の発展等につなげることが重要である。世界遺産登録から 30 周年を迎える令和 5 年に向けて、その管理や利活用のあり方が、地域と連携した形で、少しでも具体的に前進・充実することを目指すこととする。

<ポイント>

- 「地域との連携・協働、自然の適正な利用、環境教育、情報発信・普及啓発」といったテーマで。
- できるだけ地元住民や地元関係者が参画可能な具体的な取組であると望ましい。
- 既存の取組の発展や新規プロジェクトを問わず、スモールスタートでも OK。
- 一過性や打ち上げ型ではなく、できるだけ継続的なものを。
- 令和 5 年の世界遺産登録 30 周年を見据えて準備を進め、関連事業として連動させられると望ましい。

<参考>

テーマ	既存の取組等
地域との連携・協働	屋久島学ソサエティ
自然の適正な利用	屋久島公認ガイド制度（2015 町条例、2019 施行） 屋久島山岳部環境保全協力金（2015 町条例） マイカー規制 屋久島山岳部適正利用ビジョン 携帯トイレ エコツアー、エコツーリズム推進全体構想 屋久島里めぐり推進協議会
環境教育	屋久島環境文化財団（セミナー、屋久島研究講座等） 屋久島高校環境コース 出前授業（環境省）、屋久島森の塾（林野庁） SDGs×ESDプログラム集
情報発信・普及啓発	屋久島マナーガイド(1999～)、西部地域ルールガイド(2011～)、洋上アルプス(1995～)などの冊子類、屋久島マナービデオ(2002～)、各 WEB ページ